

謹賀新年



服部雅章

創業八十九年をおかえりいただき
感謝し一年を精一杯頑張ります

荻 郁恵

今年もたくさんのお客様との出逢いを楽しみに頑張ります。

お客様に喜んでいただく事に頑張ります 藤原一仁
日々成長して行けるように頑張ります 熊代由宏

沢山のお客様に出会えるように頑張ります 高野勝範

新たな気持ちで一生懸命頑張ります 島馬和生
体調に気を付け今年一年頑張ります。

北川陽輔

健康面にも気を付けながら一年を頑張ります

南方裕之

お負輕に会社へお越し下さい。お待ちしております。

箱原 貞枝

アメリカ出張



1 2月5日早朝アメリカ北部地区の現場にアメリカ広葉樹原木の仕入に出かけました。

この現場の社長と訪問する前に3回E-mailのやり取りをしていたので割とスムーズにコンテナ5本の検品を夕方3時くらい前に終わることができましたし、昼食も御一緒にご馳走していただきました。

ここの現場の仕入物件はブラックウォールナットとレッドオークが主な仕入樹種でした。最初に紹介するのはブラックウォールナットです。右の写真は購入した10本の等級はベニヤグレードのAです。

ウォールナットの購入本数は63本、コンテナ数で2本です。買い付けたクラスはSPRSEL・A・B・C・Dの5種類の等級材の買い付けに成功しました。

ブラックウォールナット材の相場は値決めの時の社長とのやり取りから昨年よりおおよそ5%位高くなっていました。



左の写真は私の為に並べて置いていただいたレッドオーク原木です。レッドオークは当初コンテナ2本の予定でしたが、少し変更してホワイトオークとの積みあわせでコンテナ2本にしました。

この産地のレッドオークは割合色が白く、他の産地と比較して径級が割合細いため仕入がしやすかったのですが、色の赤いレッドオークが最近嫌われつつ有る傾向を訪問する1ヶ月前に情報が入っていたのですが、値決めのときは値上りしていたので少し困惑しました。



右の写真はバースアイメイプルとカーリーメイプルです。それもハードメイプルのバースアイとカーリーです。20年位前に流行した当時の価格からは少しは安く買い付け出来ました。

今回のアメリカ出張でコンテナ8本購入しましたが、一番値段が高い樹種です。今回バースアイとカーリーを合わせて10本買い付けました。

その中から選んだ原木を2月18日に開催する第16回服部商店勉強会で製材しますので、ご参加ご希望の方は別紙の見学専用紙に記入のE-mail又はFAXにてご連絡いただける様お願い致します。





二日目にホワイトオーク原木が一番良い産地のオハイオを訪問しました。訪問する1週間前に多くの優良材のホワイトオークが入荷する事を聞いていましたが、超特選原木はそんなに多くありませんでした。特選原木の数は有りましたが、今回の買い付けの材はJ・A（ジャパン仕様・ベニヤグレード・超A材）のみでしたからか解りませんが、ここの現場に5回訪問しましたが、今回一番高い価格を提示されました。そ

れでも服部商店の現在購入して頂いている御客様のためになる材質で有ると判断して小生は少し高すぎると思いましたがここの産地のホワイトオーク材を清水の舞台から飛び降りるような覚悟で購入しました。

ホワイトオーク材は日本のナラ材の優良材が枯渇し、ロシアのナラ材もワシントン条約で輸入が制限されている環境において積極的に仕入をする必要が有ります。ホワイトオークはアメリカ東部地域には割合多く有りますが、ここの地域の材質は、特に日本人が一番好まれる色をしています。



三日目に訪問した所はアメリカンブラックチェリー材が一番良いペンシルバニアです。他の産地に比べて色が鮮やかで、しかもチェリー独特のガム（黒い斑点）が少ないのが最大の長所です。

左は社長のホフマンさんです。訪問した5ヶ所の中で最もアメリカ人らしいアメリカ人だと思います。ここではコンテナ半分ブラックチェリー材を買い付けしようと思っていました。それは他の樹種の兼ね合いでしたが、欲しい材ホワイトアッシュ等は全く無く90%がブラ

ックチェリー材になりました。

価格も昨年より少し高い価格を提示されました。昨年仕入した材の等級は一番上だけでしたが、今回は中間材を現在の御客様のご注文を受けられるよう実質の混ぜて中身の品質を落とさず、バラエティな中身にし



ました。

四日目は昔購入していたサプライヤーに行ってきました。目的は服部商店のトップシークレットなのでここでは書けません。

アメリカの森林の一部でも見渡せる場所に行くことは、来年以降もアメリカ広葉樹原木を扱う事が出来るかどうかを自分の目で確かめたかったからです。いつも他人の話に耳を傾けていますが、本当に木を知っているのは、森を知っていなければ、それはただの材木屋に過ぎません。服部商店は森林を

知っている数少ない正しい材木屋だと思っています。

右の写真は Warm Springs という町からアパラチア山脈を撮影しました。雄大な自然の中に豊かな広葉樹の立ち木が鬱蒼と茂っているのを見て来ました。この森林の木材の品質はアパラチアの南部地域ですので、北部地域・アパラチアの北部地域・アパラチアの中部地域と比較して全ての樹種が良いとは聞いていません。しかし、日本・ロシアの森林に比較してまだまだ多くの蓄積量のある広葉樹生産国はアメリカしかないのかなと感じました。

五日目に訪問したのはバージニア州の南部アパラチア山脈が終わる所に有るサプライヤーです。ここまで来た理由はアロマティックシダー材の原木の仕入が必要だからです。ここまで来るのにペンシルバニアから丸一日掛かりましたが、御客様に良質材のアロマティックシダーの提供が出来る買付けが出来た事に本当にほっとしています。少し径は細いですが色のばらつきの少ない原木です。

ここでの仕入樹種はホワイトオーク原木が主体です。ところで今回仕入したホワイトオークは3つの産地です。北部地域・中部地域・アパラチアの南部地域からの原木です。どういう理由で3つ



の場所を選んだかを説明させていただきます。中部地域のオハイオ・インディアナエリアが一番良い産地ですが、価格も超高値で取り引きされていますが、日本国内は建築費・人件費の高騰の為に木材価格の高騰は受け入



れていただけない環境にある事は、皆様から聞いています。そこで考えました、本物のホワイトオークが現場に必要なが、予算のある現場もあるが、予算の無い現場もありコストパフォーマンスの有るホワイトオーク材の提供が必要であるとの小生の判断からです。製材をしていないので100%のことは言えませんが、今回のアメリカ広葉樹原木の仕入は色んな現場に必要なホワイトオークを集める事が可能なルート開拓の第一歩になったと思います。

今回の1週間のアメリカ東部地域での買付け本数は以下です。

ホワイトオーク	55本	レッドオーク	45本
ブラックウォールナット	63本	ハードメープル	31本
バースウッド	10本	カーリーメープル	2本
バーズアイメープル	8本	ポプラ	2本
ブラックチェリー	48本	アロマティックシダー	7本
総本数	271本		8コンテナです。

1月20日過ぎから2月20日頃までに全量入荷する予定です。製材の順番は決まっています。

- 1、バースウッド
- 2、ハードメープル（カーリー・バーズアイを含む）
- 3、ホワイトオーク
- 4、レッドオーク等の順番です。

服部新聞の購読者でアメリカ広葉樹原木が必要な方は服部商店の営業部（072-438-0173）までお電話での問い合わせをお願い致します。

第16回服部商店勉強会と謝恩販売の御知らせ

FAX 072-422-8577

info@hattoriwood.co.jp



アンケートをお願いします。

- 1, 2017年2月18日に開催します第16回服部商店勉強会『バーズアイメープルの製材』に参加したい。

はい

いいえ

謝恩セールのお知らせ・2月1日～28日迄御購入の方に5%分の金券を差し上げます。

『使用期間は3月1日～9月末迄です。』

*注意 金券券は2月1か月間に合計で30,000円(税・商品代のみ)以上お買い上げの方に限り差し上げます。又この用紙を使ってご注文を頂けます様お願い致します。

商品名	例		
樹種	カツラ		
LOT 番号	K-11		
金額	〇〇円		
発送方法	持ち帰り		
発送日時	勉強会当日		

会社名	
担当者名	
連絡先住所	
御電話番号	
FAX・メールアドレス	

服部商店

596-0011

大阪府岸和田市木材町16-1

TEL 072-438-0173・0511

FAX 072-422-8577